

# ROSE (Research Opportunities for Students Excellence) プログラム学生募集(2025年度秋公募分)

～本学・博士課程後期在学生及び同進学希望者に対する研究活動支援～

**応募締切**  
**2026年1月22日正午**

- 本学では、博士課程後期の学生の皆さんが、主体的に研究活動を行い、深い専門性に加えて、異分野の研究者との協働等を通じて、研究者としての幅広い素養を身に付けることを目的として研究活動支援をします

ROSEプログラム学生には以下のような支援を行います

- インパクトファクターがついている国際学術雑誌に論文が採択されるごとに、右の表に従って奨学金を支給します。
- 累積論文数が3報以上となった学生には、国際会議などの海外渡航支援金もあります。

累積論文数	1	2	3	4以上
奨学金(万円)	1	2	10	10
海外渡航支援金(万円)	0		最大50 (ただし、一人1回のみ)	

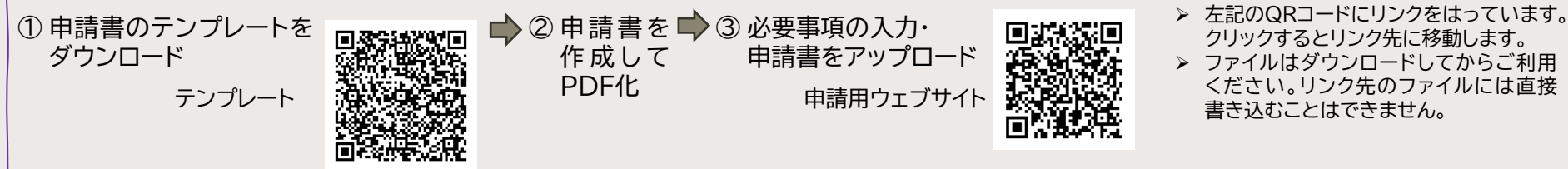
ROSEプログラム学生は次の観点で選考します

- A) 申請書において、自身の博士論文研究における課題設定に至る背景と研究目的が、専門外の研究者にもわかるように示されており、かつ、その着想が優れていること。また、研究の方法にオリジナリティがあり、自身の研究課題の今後の展望が示されていること。
- B) 学術の将来を担う優れた研究者(企業等も含む)となることが十分に期待できること。
- C) 博士課程後期を修了するときまでに、申請者本人が筆頭著者(あるいは、最も貢献した著者であると指導教員が判断した場合も含む)として、インパクトファクターがついている国際学術雑誌に論文が3報以上採択されることが見込まれること。

ROSEプログラム学生が実施すべきことは以下の通りです

- ① 自らの研究の推進、および、インパクトファクターがついている国際学術論文の執筆に努めること。
- ② 論文が採択された際には、所定の方法により、その旨の報告を行うこと。
- ③ 海外渡航支援金が支給された場合には、所定の方法により、海外渡航に関する報告を行うこと。
- ④ 日本学術振興会特別研究員DC1あるいはDC2の申請資格を有する者は、同特別研究員に申請すること。
- ⑤ ROSEプログラムに関するイベント等に参加すること。

ROSEプログラム学生には以下の方法で申請してください



※ 指導教員からの承諾が確認された後、正式に申請受付となります。

ROSEプログラムへの申請資格の詳細については募集要項を参照  
(<https://ope.ynu.ac.jp/wp-content/uploads/2025/12/ROSE-01-01J-2025F-ApplicationGuidelines.pdf>)